

《履修上の留意事項》本授業は、外国人患者とのコミュニケーションスキルの習得に努めることを最終的な目的としている。履修生は、その基礎となる文法・表現を真摯に学び、質疑応答などを通じ授業への積極的な参加が求められる。

《担当者名》シルヴィア・マリア・オレーヤージュ（非）

【概要】

本授業は、1年時前期「初級ロシア語」を受講した学生を対象とし、ロシア語中級文法を習得する。受講生は、授業を通じ、動詞の格変化を理解し、3つの主要な時制（現在形・過去形・未来形）及び定動詞・不定動詞を習得する。また、受講生が、将来的に医療現場に入ることを想定し、ロシア人患者と簡単なコミュニケーションを取れる能力を合わせて養成する。

【学修目標】

- ・動詞の格変化を習熟する。
- ・3つの主要な時制（現在形・過去形・未来形）を習得する。
- ・定動詞・不定動詞を習得する。
- ・ロシア語中級文法を習得する。
- ・ロシア語を用いた自己表現法を増す。
- ・ロシア語コミュニケーション能力を増す。
- ・ロシア文化に理解を示し、多文化主義的見識を持つ。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	レッスン1：挨拶の復習	初級ロシア語の総復習 ・ロシア語初級文法を再確認する。	シルヴィア・マリア・オレーヤージュ
2	レッスン2：動詞と名詞の復習	練習問題 ・初級文法の動詞を確認する。 ・初級文法の名詞を確認する。	シルヴィア・マリア・オレーヤージュ
3	レッスン3：動詞（現在形）3	住む・勉強する（「どこに住んでいますか？」「どこで勉強していますか？」） ・動詞の格変化を応用する。 ・疑問表現と対応表現を増やす。	シルヴィア・マリア・オレーヤージュ
4	レッスン4：動詞（現在形）4	存在動詞（ある、いる） ・「ある」の存在動詞と「いる」の存在動詞の差異を認識する。 ・存在動詞の格変化を習得する。 ・存在動詞を用いた表現を増やす。	シルヴィア・マリア・オレーヤージュ
5	レッスン5：前半部分の復習	ミニクイズ1 ・前半部分の内容を確認し、記憶する。	シルヴィア・マリア・オレーヤージュ
6	レッスン6：動詞（現在形）5	書く（「レポート・論文を書いていますか？」） ・動詞の格変化を応用する。 ・疑問表現と対応表現を増やす。	シルヴィア・マリア・オレーヤージュ
7	レッスン7：動詞（現在形）6	～したい、行く（「どこへ行くのですか？」「大学へ行きます。」） ・動詞の格変化を応用する。 ・疑問詞「どこへ、どこで」の表現を習得する。 ・「～したい」の表現を習得する。 ・疑問表現と対応表現を増やす。	シルヴィア・マリア・オレーヤージュ
8	レッスン8：中間部分の復習	ミニクイズ2 ・中間部分の内容を確認し、記憶する。	シルヴィア・マリア・オレーヤージュ
9	レッスン9：ロシア文化紹介	ロシアの料理と観光地の紹介 ・ロシア文化の特徴を理解する。 ・ロシア文化に対する関心を増す。 ・他文化に対する理解を深める。 (本レッスンは外部講師招へいの可能性を含む)	シルヴィア・マリア・オレーヤージュ

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
10	レッスン10：定動詞・不定動詞	乗り物で、歩いて行く、来る ・定動詞・不定動詞の差異を認識する。 ・定動詞・不定動詞の文法上での適切な用法を習得する。 ・定動詞・不定動詞の格変化を習得する。	シルヴィア・マリア・オレーヤージュ
11	レッスン11：動詞（過去形）1	「何をしましたか？」 ・現在形と過去形の差異を認識する。 ・過去形の正しい用法を理解する。 ・過去形の格変化を習得する。 ・疑問表現と対応表現を増やす。	シルヴィア・マリア・オレーヤージュ
12	レッスン12：動詞（過去形）2	存在動詞（ある、いる）の過去形「昨日どこにいましたか？」/ 天気の状態 ・存在動詞の過去形の格変化を習得する。 ・天候に関する表現を習得する。 ・疑問表現と対応表現を増やす。	シルヴィア・マリア・オレーヤージュ
13	レッスン13：動詞（未来形）	存在動詞（ある、いる）の未来形/ 病気の表現 ・現在形・過去形・未来形の差異を認識する。 ・存在動詞の未来形の格変化を習得する。 ・病気に関する表現を習得する。	シルヴィア・マリア・オレーヤージュ
14	レッスン14：後半部分の復習	ミニクイズ3 ・後半部分の内容を確認し、記憶する。	シルヴィア・マリア・オレーヤージュ
15	レッスン15：まとめ	まとめ ・現在形・過去形・未来形の差異を正確に認識する。 ・定動詞・不定動詞の差異を正確に認識する。 ・ロシア語初級、ロシア語中級で学んだ内容で自己紹介・自己表現をより豊かにする。 ・授業全体の内容を確認し、記憶する。	シルヴィア・マリア・オレーヤージュ

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

授業中に課す小課題（30%）、宿題（10%）、期末試験（40%）、授業・交流事業での発言（20%）。

【教科書】

黒田龍之介『ニューエクスプレスプラス・ロシア語』白水社、2018年

【参考書】

必要な参考文献がある場合、授業中にプリントを配布する。

【備考】

本授業を通じて、実用的なロシア語能力の獲得を目指す。このため、授業の進行の妨げにならない範囲で、ロシア人ゲストスピーカーの招へい、ロシア人学生との授業内・学外交流を実施している（平成31年度/令和元年度実績で、ゲストスピーカーによるロシア文化特別講義1件、授業内学生交流1件、学外学生交流1件）。これらの活動に積極的に参加し、ロシア語会話に努める気概が受講生に求められる。

【学修の準備】

次回の授業範囲に指定したページを事前に読むこと（15分）。その中で、不明な単語がある場合は、意味を調べ、憶えること（5分）。

【ディプロマポリシーとの関連性】

- （DP1）生命の尊重を基盤とした豊かな人間性、幅広い教養、高い倫理観を身につけている。
- （DP4）臨床検査のスペシャリストとして、進歩や変化に常に関心を持ち、生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。
- （DP5）多様な文化や価値観を尊重し、地域的・国際的な視野で活躍できる能力を身につけている。

【実務経験】

ロシア語講師

【実務経験を活かした教育内容】

スラヴ系言語は日本人にとって学習が難しい外国語の一つである。中でも格変化が難しいが、日本語でも「てにをは」があり、概念を変えれば日本語にも格変化が存在すると言える。このように、日本人学生に教えた経験から、日本人にとって難しいとされる文法・単語表現を受講生に容易に理解できるように説明する。